

「大造じいさんとガン」

椋 鳩十
むく はとじゅう

めあて

「大造じいさんとガン」を読んで感想を話し合い、学習することを決めよう。

大造じいさんの三十五、六さいころの話
ガンがりの話
場所は、栗野岳^{だけ}

大造じいさんは、なぜ残雪を助けたのだらう。
残雪は命をすてて仲間を助けるなんですか、すごいと思った。
残雪は頭がいいんだなあと思った。

物語をしようかいする方法

- ・ブックカバー
- ・本の帯
- ・読書発表会
- ・ポスター
- ・新聞

ポップ

キャッチコピー
題名
作者
場面のしょうかい

自分のしょうかい文

ポップとは…本を買ってもらったための広告

分かりやすく、読みたくなるように書く

ポップに書く内容 題名、作者の名前

作者が伝えたいこと

(キャッチコピー)

場面のしょうかい

自分のしょうかい文

学習すること

作者の伝えたいことを知って、ポップでしようかいしよう。

- 1 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート…・資料
活動のねらい

初発の感想を交流させ、学習の課題を決めることができるようにする。

- 1 前書きから物語の設定を知り、初発の感想をもつ。

前書きを読んで、物語の設定を知る。

前書きから、物語は大造じいさんの若いころの話であること、ガンがりの話であることなど、場面の設定を押さえる。

「大造じいさんとガン」を読んで、疑問に思ったことや感動したことなどを視点に、初発の感想を書く。

- * 東京書籍五年下「大造じいさんとガン」には、前書きがありません。

- 2 感想を話し合い、学習の課題を決める。

自分の感想を発表する。

- * 児童の実態に合わせて、ペアやグループ内での交流を入れてもよいでしょう。

それぞれの感想の違いについて、意見交流をする。

紹介する方法を考える。

児童がこれまでに経験している紹介する言語活動をいくつか挙げ、今回はポップを作るという方法を知らせ、この方法で紹介することに意欲をもたせる。(ポップサンプルを提示する。)

- * ポップについては、本屋や学校図書館にあるものをイメージさせながら、ポップの効果や意味について考えさせるとよいでしょう。

ポップに書く内容を確認する。

「大造じいさんとガン」をポップで紹介するために、どんな内容を学習するのかを考えさせ、学習課題へとつなげていく。

評価 学習課題を決めるために、積極的に話し合いをしている。

- 3 次時は本時の学習を基に学習計画を立てることを知る。

めあて

大造じいさんとガンを読んで、感想を書きましょう。

ぎ問に思ったこと、不思議に思ったこと
感動したこと

しょうかいする方法



今回の方法は

こんなことしたよね

学習のしゅじ



今日の学習をふり振り返りましょ。

できた だいたいできた もついで

進んで話し合い、学習することを決めることができましたか。

キャッチコピー

題名 作者

場面のしょうかい文

自分のしょうかい文

ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋 鳩十

めあて

ポップでしようかいするための学習計画を立てよう。

好きな物語を読んでポップを作ろう	「大造じいさんとガン」をくわしく読んで、作者の伝えたい事を考えよう					学習の計画を立てよう	
2 (課外 1)	1	1	1	1	1	2	時間
みんなにしようかいしたい本を選んで、ポップを作っしょうかいしよう。	四の場面を読んで、作者の伝えたい事を考えよう。	三の場面の出来事を読み取ろう。	二の場面の出来事を読み取ろう。	一の場面の出来事を読み取ろう。	前書きを読んで場面分けをし、それぞれの場面に名前を付けよう。	めあてを決めて学習の計画を立てよう。	学習すること

2 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート…
活動のねらい

課題を解決するための学習計画を話し合わせ、学習の見通しをもつことができるようにする。

1 学習課題とポップに書く内容について確認する。

作者の伝えたいことを知って、ポップでしようかいしよう。

2 前時に紹介したポップの内容を確認させることで、課題解決の手がかりとさせる。課題を解決するための学習について話し合う。

【発問】作者の伝えたい事を知って、ポップを作るために、どんな学習をしていったらいいですか。

前時の初発の感想を基に、学習の計画を立てさせる。

「大造じいさんとガン」を読んで学習すること。

場面分けをする

どんな事件があったのかを読み取る

作者の伝えたいことを考える

読み取ったことを基にポップを作る

好きな物語を読んで、ポップを作ること。

好きな本を読んで、作者の伝えたい事を考える

読み取ったことを基に、ポップを作る

3 話し合ったことを整理して、学習計画表に書き込む。

ポップには、読み取った内容を徐々に書き込んでいくことを知らせ、学習の見通しをもたせる。

評価 学習計画について進んで話し合い、学習の見通しを計画表に書くことができている。

4 本時を振り返り、次時は、場面分けをしていくことを知る。

本をしょうかいしよう ワークシート

5年

「大造じいさんとガン」

椋 むく
鳩十 はとじゅう

めあて

学習計画表

好きな物語 を読んで、 ポップを作 ろう	「大造じいさんとガン」をくわしく読ん で、作者の伝えたい事を考えよう					学習の計画 を立てよう	時間	学習すること
	2 (課外1)	1	1	1	1	2		

今日の学習をふり返りまじょう。

できた

だいたいできた

もう少し

進んで話し合い、学習の計画を立てて、計画表に書くことができ
ましたか。

ポップでしようかいしよう

「大造じいさんとガン」

椋むく 鳩はと十じゅう

めあて

場面分けをして、場面に名前をつけよう。

四つの場面に名前を付けよう。

一	一羽のガンをつかまえたつりばりの計略
二	残雪にしてやられたたにしの計略
三	また残雪にしてやられたおとりのガンの計略
四	残雪をうれしそうに見送る大造じいさん

学習したこと

- ・出来事で場面が分かれていること
- ・三の場面で、大造じいさんの気持ちが変わっていること

3 / 9 時間目 指導略案

使用するワークシート・・・ポップシート

活動のねらい

「大造じいさんとガン」の全文を読ませ、物語の大体をとらえさせる。

1 場面分けをして、物語の大体の内容をとらえる。

場面分けをする。

場面については、教科書であらかじめ四場面に分けられているので、確認させる程度にとどめる。

* 場面分けを教科書通りではなく、次のように分けることもできます。児童の実態に合わせて使い分けてよいと思います。

「物語の設定の場面」(75ページ～76ページ1行目)
「出来事の展開場面」(78ページ4行目～82ページ10行目)
「クライマックス場面」(82ページ11行目～87ページ3行目)
「その後」の場面」(87ページ～)

【発問】分けた場面の内容が分かるような名前を付けましょう。

場面に名前を付ける。

場面の名前は大造じいさんの計略(作戦)を中心に考えさせる。

場面の名前を考えていく際、大造じいさんの気持ちが変わった場面についても考えさせる。

2 ポップシートに題名と作者の名前を書き入れる。

* ポップシートの大きさは、図書館に置ける程度のサイズ(八つ切り画用紙の半分程度)がいいと思います。

3 本時を振り返り、学習したことをまとめ、次時は、一の場面の出来事について読み取っていくことを知る。

評価 各場面を読み、内容を考えて名前を付けることができている。

「大造じいさんとガン」

めあて

Blank box for writing the objective.



四つの場面に名前を付けましょう。

四	三	二	一

学習したこと



Large rounded rectangular box for writing what was learned.

今日のふり返りをしてしょう。

できた だいたいできた

もう少し

四つの場面に分けて、名前を付けることができましたか。

Two boxes for a self-reflection survey.

キャッチコピー

題名

作者

1

2

3

4

自分のしょうかい文

ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋 鳩十
むく はとじゆう

めあて

一の場面を読んで、つりばりの計略について読み取ろう。

残雪

- ・ なかなかりこつなやつ
- ・ 油断なく気を配っている
- ・ 人間を寄せつけない

大造じいさん

- ・ 残雪をいまいましく思っている。
- ・ 今年こそは
- ・ 今度はずまくいきそつな気がしている。

つりばりの計略

たかが鳥

一ばんたてば、また
わすれてやつて来る
にちがない。



見直した



残雪の行動
・ えをすぐに飲み込まない
・ ぐうと引つ張って
・ いじょうなしとみとめると
初めて飲み込んだ。



あの残雪が指導してやった

たいしたちえをも
っているものだ
な。



学習したこと

・ 行動を表す言葉から、登場人物の気持ち分かる。

4 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・ ポップシート
活動のねらい

一の場面を読ませ、大造じいさんと残雪についての人物設定とつりばりの計略の内容について読み取らせる。

1 残雪の様子とこれまでの行動に対する大造じいさんの気持ちを読み取る。

残雪が来るようになってから一羽のガンもとれなくなったことに着目させながら、大造じいさんの残雪に対する気持ちを読み取らせる。

2 つりばりの計略について読み取る。

つりばりをしかけておいた沼地を見に行った時の大造じいさんの気持ち分かる言葉を抜き出し、その時の気持ちを想像する。

「昨日よりも、もっとたくさん」のつりばりをばらまいた大造じいさんの気持ちを考えさせることで、次もつまりいくという大造じいさんの期待を想像させたい。

【発問】どうして大造じいさんは「ううむ。」と感嘆の声をもらってしまったのでしょうか。

大造じいさんの心情を想像し、考えを交流する。

「思わず」、「感嘆」、「もらして」という言葉に着目させ、大造じいさんの心情を読み取らせる。

評価 残雪に対する大造じいさんの気持ちを、叙述を基に書くことができている。

3 一の場面の内容をポップシートに一文で書く。

4 本時を振り返り、学習したことをまとめ、次時は二の場面の出来事について読み取っていくことを知る。

「大造じいさんとガン」

椋 むく
鳩十 はとじゅう

めあて

Blank box for the goal (めあて).

残雪

Blank box for the character 'Residual Snow' (残雪).

大造じいさん

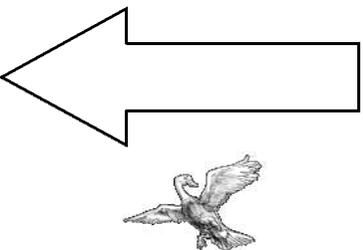
Blank box for the character 'Daisaijiisan' (大造じいさん).

つりばりの計略

たかが鳥

残雪の行動

「へいむ。」



Blank box for 'Residual Snow's actions' (残雪の行動).

学習したこと

Blank box for 'What was learned' (学習したこと).

今日の学習をふり返りましょう。

できた

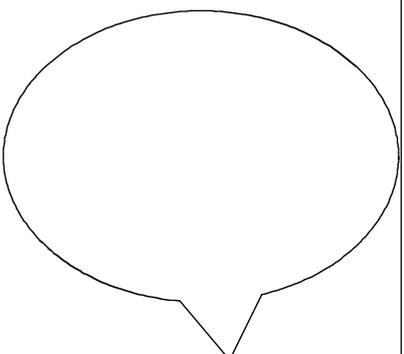
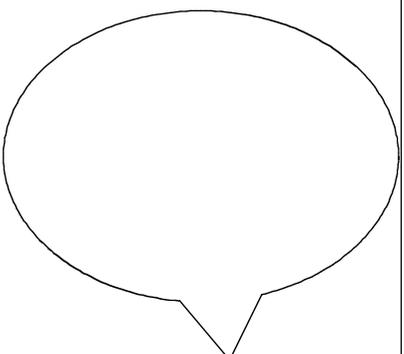
だいたいできた

もう少し

一の場面の出来事がわかりましたか。

残雪の行動を表す言葉から、大造じいさんの気持ちをふき出しに書くことができましたか。

Blank box for reflection on the learning process.



ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋 鳩十

めあて

二の場面を読んで、たにしの計略について読み取る。

- ・会心のえみをもらしました。
- ・あかつきの光が、すがすがしく流れこんできました。
- ・今日こそ、成功するぞ。
- ・しめたぞ。もう少しだ。
- ・今日こそは、目にも見せてやるぞ。



「うんうん。」

「うんうん。」

思わず…もらした



- ・また、残雪にしてやられたから。
- ・残雪が広い沼地のずっとはしに着陸したから。
- ・今年こそはと思っていたのに、今年もやられたから。
- ・どんな作戦をしても、勝てないと思ったから。

うなっていました。

「うんうん。」

学習したこと

他の場面と比べながら、中心人物の気持ちを読み取ることができる。

5 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート… ・ポップシート
活動のねらい

二の場面を読ませ、残雪に対する大造じいさんの気持ちを読み取らせる。

1 一の場面での大造じいさんの気持ちを確認し、たにしの計略に対する意気込みを読み取る。

一の場面を振り返り、大造じいさんの残雪に対する気持ちを確認する。

たにしの計略に対する大造じいさんの気持ちが分かる言葉にサイドラインを引く。

「今年こそは」という言葉に着目させ、これまで失敗してきた大造じいさんの悔しい気持ちと今年にかける意気込みを読み取らせる。

児童の考えた大造じいさんの気持ちは、文中にある言葉で確認させる。その際、情景描写に暗示された大造じいさんの気持ちにも気付かせる。

2 大造じいさんの残雪に対する気持ちを読み取る。

【発問】大造じいさんが「うんうん。」とうなってしまったのはどうしてだろう。

大造じいさんが「うんうん。」とうなった理由について自分の考えをもつ。

大造じいさんの気持ちについて、グループや全体で話し合う。

一の場面の「うんうん。」と言った時の大造じいさんの気持ちと比べさせる。その際、「思わず…もらして」と「うなっ…」という言葉に着目させ、残雪に対する感心の気持ちが大きくなっていることに気付かせる。

* 意味の分からない言葉について、すぐに調べられるように、机の上に国語辞典を置かせておくことよいでしよう。

評価 大造じいさんの残雪に対する気持ちを叙述に即して考えている。

3 本時のまとめとして、二の場面の内容をポップシートに一文で書く。

4 本時を振り返り、学習したことをまとめ、次時は、三の場面の出来事について読み取っていくことを知る。

「大造じいさんとガン」

棕むく
鳩はとじゅう十

めあて

Blank rectangular box for the objective.

大造じいさんはどうして「うづん」とうなってしまったのでしょうか。



Large speech bubble shape for notes or discussion.



学習したこと

Blank rectangular box for learning points.

今日の学習を振り返りましょう。

できた だいたいできた もう少し

大造じいさんの気持ちをふき出しに書くことができましたか。	
------------------------------	--

ポップでしようかいしよう 「大造じいさんとガン」

椋 鳩十

めあて

三の場面を読んで、大造じいさんの心はどうして変わったのかを考えよう。

大造じいさんの言葉

・「うまくいくぞ。」
・「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」
・「さあ、今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」



大造じいさんの心はどうして変わったのだろうか。



- ・おとりのガンをたすけてくれたから
- ・正面からにらみつけたから
- ・じたばたさわがなかったから
- ・最期の時を感じても、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力していたから
- ・今までも残雪にやられていたけど、感心していたから

学習したこと

・中心人物の心が変わったのは、他の場面の出来事にも関係があること。

6 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・ ポップシート
活動のねらい

大造じいさんの心の変化を文中の叙述を基に読み取らせる。

1 前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつ。

前時までの学習を想起させ、行動を表す言葉や気持ちを表す言葉を探したことや大造じいさんはこれまで何度も残雪にやられてきたことを確認させる。

2 大造じいさんの心はどうして変わったのかを考える。

【発問】大造じいさんの気持ちはどうして変わったのかを考えましょう。

大造じいさんの理由について、自分の考えをもつ。

大造じいさんの心を動かす要因になった残雪の行動や様子を表す言葉に着目させ、自分の考えをワークシートに書かせる。

考えを全体で交流する。

大造じいさんの心を変えた残雪の行動について考えさせていくことで、今まで学習してきた場面での残雪の行動も関係があることをとらえさせる。

3 本時のまとめとして、三の場面の内容を一文で書く。

本時は、残雪の行った行動から大造じいさんの気持ちを考えていったことを確認し、三の場面の内容をポップシートに一文で書かせる。

4 本時を振り返り、学習したことをまとめ、次時は四の場面について読み取っていくことを知る。

評価 大造じいさんの心を動かした残雪の行動や様子を文中から探すことができている。

「大造じいさんとガン」

棕むく
鳩十はとじゅう

めあて

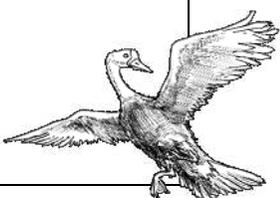
--

大造じいさんの言葉



--

大造じいさんの気持ちはどうして変わったのだろうか。



--

学習したこと

--

今日の学習をふり返りましょう。

できた だいたいできた もう少し

大造じいさんの心が変わった理由がわかりましたか。

文中の言葉から、大造じいさんの気持ちを想像することができましたか。

--

ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋むく 鳩はとじゆう 十

めあて

四の場面を読んで、作者の伝えたいことを読み取ろう。

大造じいさんの気持ちが分かる言葉

- ・ふたをいっぱい開けてやりました。
- ・ひきょうなやり方でやつつけたかあないぞ。
- ・また堂々と戦おうじゃないか。
- ・大きな声でガンによびかけました。

大造じいさんと残雪の関係

- ・ライバル
- ・人間と人間のような
- ・友達みたいな
- ・温かい

(な) 関係



作者の伝えたいこと

大造じいさんと残雪の

- ・人間と動物のライバル関係
- ・人間と動物の友情
- ・人間と動物の約束
- ・人間と鳥の温かい関係

学習したこと

作者の伝えたいことは、中心人物と他の登場人物との
かわりから考える。



7 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・ポップシート
活動のねらい

四の場面の内容を読み取らせ、作者の伝えたいこと(主題)を考えさせる。

1 学習の見通しをもつ。

四の場面の内容を基に、作者の伝えたいことについて考えさせ、ポップシートの
キャッチコピーのところに書くことを確認する。

2 四の場面を読み、主題について考える。

四の場面を読み、大造じいさんの気持ちが分かる言葉を抜き出す。
会話文や行動を表す言葉を基に、大造じいさんの気持ちを想像させる。

【発問】大造じいさんと残雪はどんな関係になったのでしょうか。

大造じいさんと残雪の関係を考える。

残雪を見送る大造じいさんの気持ちから、大造じいさんと残雪の関係は、普通の
人間と動物の関係ではないことに気付かせる。

3 作者の伝えたいことは何か考える。

【発問】作者の伝えたいことは何か考えましょう。

自分なりの考えをもつ。

* 主題にまとめていく際、作者の伝えたいことは、「大造じいさんと残雪の
と考えさせ、その後、大造じいさんを人間に、残雪を動物に置き換えさせるとよい
でしょう。

考えを全体で交流する。

全体で交流させていくことで、自分の気付かなかった考えに触れさせる。

ポップシートのキャッチコピーと四の場面の紹介、自分のしようかい文を書かせ
る。

評価 作者の伝えたかったことについて、自分なりの考えをワークシートに
書いている。

4 大造じいさんとガンを紹介するポップのタイトルと自分の紹介文を書き込む。

5 本時を振り返り、次時は物語を読んでポップを作ることを確認する。

「大造じいさんとガン」
めあて

大造じいさんの気持ち分かる言葉



大造じいさんと残雪の関係



(な) 関係

作者の伝えたいこと

大造じいさんと残雪の

友だちの考え



学習したこと

今日の学習をふり返りましょう。

できた

だいたいできた

もう少し

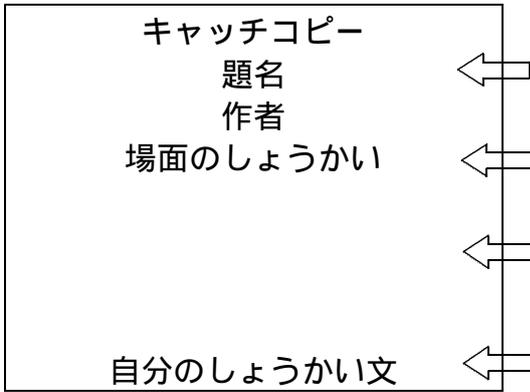
作者の伝えたかったことを自分なりに書くことができましたか。

ポップでしようかいしよう

めあて

好きな本を読んで、ポップで紹介しよう。

児童の作品



手順

物語を読んで、題名と作者名を書く。

場面分けをして、場面のしようかい文を書く。

作者の伝えたいことを短い言葉で書く。(キャッチコピー)

自分のしようかい文

8 / 9 ・ 課外 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート…
活動のねらい

好きな物語を読ませ、「大造じいさんとガン」で学んだ事を生かして、ポップにまとめさせる。

1 学習の見通しをもつ。

ポップ作りの手順を確認する。

・ 紹介したい物語を選んで読む。(題名と作者名を書く。)

・ 場面分けをする。(四場面)

・ 場面の内容を書く。

・ 作者の伝えたいことを短い言葉で書く。

・ 自分の紹介文を書く。

2 好きな物語を選んで読む。

* 主題や作者に関わる本につなげることも考えられますが、図書室にある本の状況と身に付けた力をいろいろな物語で使わせるために好きな物語を選んで読ませることにはしますが、学校や地域の実態に合わせて変えるのもいいと思います。

ここでの目的は読み広げと、教材文で学んだ物語文の読み方を使うことである。

従って、児童に選ばせる本は高学年相当のものに限らず、児童が紹介したい本であれば、絵本でもよいことにする。

3 好きな物語を紹介するポップを作る。

* 児童の実態に応じて、本をすべて読み終わらなくても、場面の紹介などについては、随時、書かせていく。

* ポップの大きさは、図書室に置くことを考えて、八つ切り画用紙半分程度がよいでしょう。

評価 自分が紹介したい本を選び、意欲的にポップ作りに取り組んでいる。

4 できたポップを友達どうしで紹介し合い、単元を通した振り返りをする。

めあて

選んだ本の題名

作者の名前

場面のしょうかい文

四	三	二	一

作者の伝えたいこと

な物語

自分のしょうかい文

学習をふり返りましょう。

できた だいたいできた もう少し

選んだ物語を自分なりにしょうかいすることができましたか。